

問題1

次の取引について仕訳しなさい。
ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
消耗品	前払金	備品	別段預金
新株発行費	支払手形	買掛金	未払金
前受金	貸倒引当金	資本金	資本準備金
利益準備金	株式申込証拠金	売上	仕入
消耗品費	支払手数料	手形売却損	

- 得意先松江商店に商品540,000円を売り上げた。代金のうち140,000円はすでに受け取っていた手付金と相殺し、残額は掛けとした。
- 得意先但馬商店振り出し、米子商店引き受けの為替手形250,000円について、銀行で割り引き、割引料5,000円を控除した残額は当座預金とした。
- 仕入先足立商店から商品800,000円を仕入れ、代金のうち350,000円については、水木商店振り出しの約束手形を裏書譲渡し、200,000円については、かねてより売掛金のある得意先小泉商店を名宛人、足立商店を受取人とする為替手形(引受済み)を振り出して支払い、残額は掛けとした。
- 志賀商会からオフィス機器300,000円と事務用消耗品20,000円を購入した。代金のうち100,000円は小切手を振り出して支払い、残額は翌月末からの4回払いとした。なお、当社は消耗品を購入時に費用処理している。
- 新株100株を@50,000円で発行し、その全額を、申し込み期日までに当座預金に振り込まれていた株式申込証拠金により充当した。なお、払込額のうち、会社法の規定に定める最低限度額を資本金に組み入れた。

問題2

次の伝票はそれぞれある1つの取引について作成されたものである。
伝票に基づき、その取引を推定して仕訳を示しなさい。

(1)	入金伝票		振替伝票			
	科目	金額	借方科目	金額	貸方科目	金額
	売掛金	200,000	売掛金	400,000	売上	400,000
(2)	出金伝票		振替伝票			
	科目	金額	借方科目	金額	貸方科目	金額
	仕入	300,000	仕入	300,000	買掛金	300,000

問題3

解答用紙の精算表の()内に適当な勘定科目・金額を記入して、精算表を完成させなさい。

受験番号	
氏名	

得点合計

得点小計

問題1

番号	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
1				
2				
3				
4				
5				

問題2

(1)				
(2)				

得点小計

受験番号

氏名

問題3

精 算 表

勘定科目	試 算 表		整 理 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	1,080			()			1,020	
受 取 手 形	()						13,460	
売 掛 金	()						9,000	
売買目的有価証券	()			()			4,320	
繰 越 商 品	()		4,060	3,600			()	
貸 付 金	()						6,000	
消 耗 品	540			()			60	
備 品	()						6,000	
買 掛 金		()						7,720
借 入 金		()						9,000
貸 倒 引 当 金		()		()				280
備品減価償却累計額		2,700		()				3,240
資 本 金		()						()
売 上		()				52,920		
受 取 利 息		()		()		140		
仕 入	32,940		()	()	()			
給 料	()				9,600			
支 払 家 賃	3,960		()		4,320			
支 払 保 険 料	1,200			()	()			
支 払 利 息	()		()		360			
雑 損	()		()		120			
	()	()						
貸倒引当金繰入			()		160			
有価証券評価()			()		540			
()			()		()			
減 価 償 却 費			()		()			
未 収 利 息			()				60	
() 家 賃				()				()
前 払 保 険 料			()				300	
未 払 利 息				()				120
当 期 ()					()			()
			()	()	()	()	()	()